

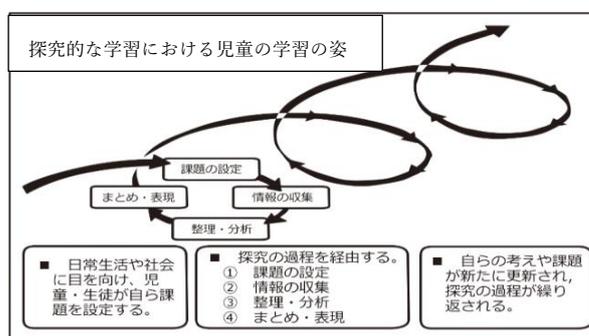
**研究主題**

## 地域との関わりを通して共に学びあい高め合う児童の育成

### ～地域の特色を生かした相っ子学習の充実～

低学年ブロックでは、生活科の学習を見直し、これまで積み上げてきた地域とのつながりを最大限に生かし、相っこ学習の計画を立てた。これまでの学習は活動が中心になっていて、児童の学びとして、地域から何を学んだのか、また6年間の学びに系統性や関連性がどのようにあるのかが分かりづらかった。そこで、児童が学びたいことを予想し、学習課題をつかみ、学習の計画を立て、体験や活動を行い、体験や活動を基にした情報を整理・分類する学習の過程を構想した。これは、総合的な学習の時間の探求的な学習における児童の学習の姿を意識した流れになっており、児童にとっては、生活科と総合的な学習の時間の学び方がつながることで、スムーズに学習が進められると考える。

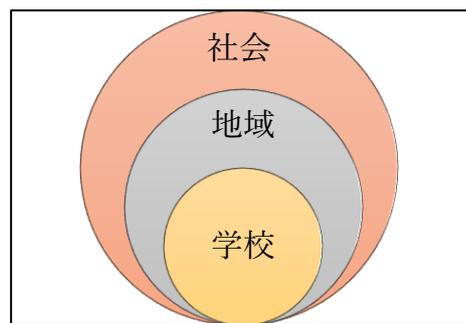
**【地域における学びの計画】**



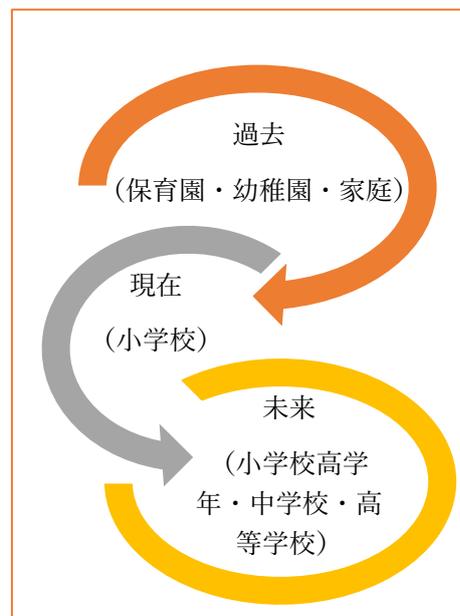
研究内容について

	1年生の学習内容	2年生の学習内容
1学期	・学校探検 ○遠足(中央公園) ★夏をさがそう(植物・虫) ・アサガオ	・ようこそ1年生(1) 1年生へ相原小学校の紹介 ・ぼかぼかお日さま出かけたいね(2) ・めざせ野菜作り名人(10) ○トウモロコシのおろぬき→収穫 ○サツマイモ苗植え ・めざせ生きものはかせ(10)
2学期	○虫観察(中央公園) ・お店をひらこう	○サツマイモ観察→収穫→収穫祭 ・まちが大すきたんけんたい(14) ガラスフェーシング ・えがおのひみつたんけんたい(28) ○図書館見学
3学期	・冬と遊ぼう(凧あげ、風車) ・昔の遊び ○トウモロコシの種まき ○幼保小連携交流会	・作ってためして(20) ・あしたへつなぐ自分たんけん(20) ○馬頭琴の演奏

今年度の校内研究のテーマである「地域との関わりを通して共に学びあい高め合う児童の育成～地域の特色を生かした相っ子学習の充実～」を受けて、低学年では学校の自然や人、もの・ことに関わり、同心円状に児童の興味・関心、活動の範囲を広げていき、学習の対象や活動場所も広げていく。

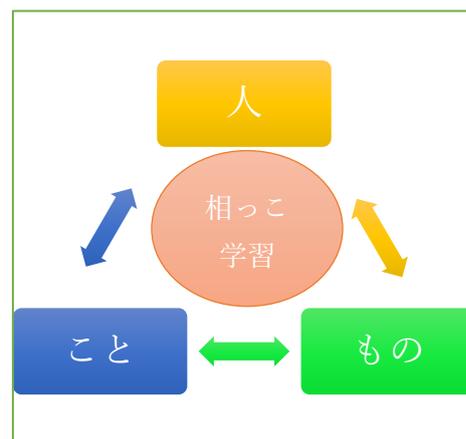


また本校が150周年という節目の年であるということも学習に生かして、時間軸も過去から現在、未来ということも意識して、児童にとって過去である幼稚園や保育園のころのつながりも学習に積極的に取り入れていく。特に1学年の児童は保育園や幼稚園などそれぞれが異なった環境から集まっているため、生活経験も多様である。この多様さを共に学び合い高め合う活動に生かすためには、お互いのことを知り、認め合うことが重要だと考える。



また本校は学校長から示されている相っこ学習の内容として「人・もの・こと」は、生活科の学習の根幹であり、学習の対象として一致するので、学習指導要領に示されている内容と合わせて、相っこ学習に力を入れていく。まず「人」に関しては、学校内で働いている大人である教師や調理員、用務、事務などお世話になっていることから、学校に主にかかわってくださっている支援員や地域のボランティア、まちとものスタッフ、児童の指導員、ぱおの職員など放課後などをはじめ多くの方々に

お世話になっている。そして、相原保全会の皆様やJA0会の皆様、地域の講師の方々、保育園の先生方、幼稚園の先生方、保育園・幼稚園の園児など多くの人々とともに育ってきていることも忘れてはならない。「こと」は学校を中心に展開されている相原に残る文化や、地域で育まれている文化をはじめ、それらの文化を継承・発信している公共機関や私的な機関である公園や公民館などがあり、そこにあることから何を学べるのか、どんな体験ができるのかを捉えて、自分たちが相原にあることをどのように発展させていきたいか、守っていきたいかを考えさせたい。そして「もの」は自然の中に生きている生き物などを含めている。相原全体が自然豊かな地域でありながら、そのものとどのように向き合って暮らしているのか、どのように関わって遊んだり生活したりしているのかなどを学び、ものを大切にしていこうという気持ちを育てていくことが大切であると考え。低学年では、この相っこ学習の中で、学校をスタートとした小さな円からだんだん円を広げて園ともつながりながら、人やもの、こととの縁をつなぐ一歩を築いていく。



# 第1学年 生活科 学習指導案

町田市立相原小学校

1年1組 35名

指導者 森田明奈

1. 単元名 「なつと ともだち」

2. 単元目標

夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見つけることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、ミシカな自然の違いや特徴を見つけている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとしている。

4. 単元について（指導観）

(1)単元設定の理由（単元観）

本単元の学習は、学習指導要領では、以下のように位置付けられている。生活科の内容（5）身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

本単元までに、児童たちは学校探検を通して、小学校という新しい環境や友達との出会いを経験し、何かを発見すること、友達と一緒に遊ぶことの楽しさに気付いてきている。また5月に実施した春の遠足である相原中央公園へ出かけた活動を通して、児童たちの目が学校から地域へと広がりつつあるこの時期、体を使って夏を探したり、草花を使って遊んだりすることは、知的好奇心をかきたて、季節感を養うことにつながる。春の遠足やこれまでの学校内外での体験を生かし、草場や生きものの様子を調べたり、確かめたりしたいという願いをもって、活動へと向き合うことができるようにし、物事を比較したり、季節の変化の中で捉えたりするような味方の基礎をみにつけさせたい。また水を使った遊びや暑い時期にしかできない遊び、雨の日にはしかできない遊びを工夫してダイナミックに楽しませたい。

(2)児童の実態（児童観）

児童たちは入学してから、学校探検や栽培活動などを通して、知的好奇心をかきたて、それぞれの活動において、科学的な思考と表現をする学習活動をおこなってきた。これまでは教師が主導で学習を進めることが多かったが、導入段階でこれまでの生活体験を想起させたり、学習のまとめとして絵や言葉で表現したりする活動を行ってきた。また、入学してからスタートカリキュラムを経て、合科的に学習を進めてきていることを生かしつつ、それぞれの教科とのつながりを意識した活動の中で、学習の基礎的となる話すことや書くこと、話し合うこと、観察すること、色をぬることなど身につけてきたことを生かして、本単

元の学習に取り組めるようにする。

また、学習したことを振り返る活動を通して、個々の成長に気付かせ、自分ができるようになったことなどから、自信をもって普段の生活に生かせるようにしていきたい。

### (3) 教材について (教材観)

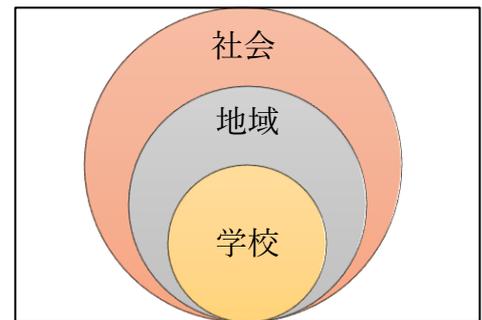
入学して間もない春のころは、校内外で地域を学ぶ活動は、ほとんど行っていない。児童のこれまでの生活体験と比較して、夏との違いを考えることで、季節の移り変わりやそれぞれの季節の特徴を捉え、これからの様々な学習につなげていく。また、季節について個人として感じていたことを、話し合うことで季節について共通理解を図り、科学的な見方や捉え方につなげることができる。本単元では、夏というイメージを共有し、実際に夏について体験しながら調べ、夏だからこそできることを話し合う活動は、基本の高い状況や日差し、水や日陰、風などの涼を心地よく感じることで、成長が著しい植物の勢い、力強く活動する昆虫などの動物など、夏について共有するべきことはたくさんある。これまでの学校探検や栽培活動などを通して、身にすけてきた「見る、きく、感じる力」を発揮して、夏について学んでほしい。

また相原小学校で探す夏から、春の遠足で訪れた中央公園に目を向けることも考え、植物で遊ぶ活動などは地域に出かけて夏を探すことも考えられる。そして、水遊びなどの活動を自分たちで考え、計画していくことで社会的なルールやマナーを学びつつ、思い切り楽しむ活動を通して、自分たちで考えた活動ができたことに達成感を感じさせたい。

## 5. 校内研究との関わり

### (1) 低学年部会として研究テーマの捉え方

今年度の校内研究のテーマである「地域との関わりを通して共に学びあい高め合う児童の育成～地域の特徴を生かした相つ子学習の充実～」を受けて、低学年では学校の自然や人、もの・ことに関わり、同心円状に児童の興味・関心、活動の範囲を広げていき、学習の対象や活動場所も広げていくことを通して、「生活経験と新しい知識や体験をつなげて、自分の考えをもち、互いの考えを比べあったり、認め合ったりしてよりよい考えをもつ児童の姿」を目指す。



### (2) 本単元における研究テーマとのかかわり

- ・ 夏の自然の様子について五感を通して感じ取ったり、春の様子と比較したりして捉える姿。
- ・ 植物や生き物、気温、風などの夏らしい自然の様子に気付いている姿。
- ・ 夏らしい自然の様子や夏ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとしている姿。

### (3) 研究テーマに迫るための具体的な手立て

#### ① 指導計画の工夫

- ・ 相原の地域から人・自然・もの（こと）を学ぶ指導計画
- ・ 教科横断的に学びをデザインするカリキュラムマネジメント

#### ② 課題設定の焦点化

- ・ 児童が課題に気づき、学習計画や方法を決めていく学習の展開
- ・ 児童が学習したい内容を生かした課題設定

#### ③ 振り返りの工夫

- ・ 学習カードや学びの記録を視覚化し、達成感を味わわせる。
- ・ 視覚化した学習の記録から、学びの流れを次の学習に生かす。

(4) 研究授業の視点

・地域の教材をあつかった学習を通して、これまでの生活経験と新しい知識や体験をつなげて、相っこ学習が展開されている。

・自分の考えをもち、互いの考えを比べあったり、認め合ったりしてよりよい考えをもつ学習を通して、互いに認め合い高めあう学習が展開できている。

6. 指導計画・評価計画 (13時間)

時間	小単元の目標 ①主な学習活動	重点評価規準 【評価の観点】	他教科との関連 資料 講師
6	<p><b>なつとともにだち なつをみつけよう</b></p> <p>夏を見つける活動の中で、自然の様子を五感で捉えたり、春の様子と比較したりすることができ、夏らしさに気付くことができるようにする。</p> <p>① 夏や夏の遊びについて知っていることを教え合う。</p> <p>② 夏探しに出かける。</p> <p>③ 見つけた夏について伝え合う。</p> <p>④ 夏探しに出かける。</p> <p>⑤ 夏の特徴や春との違いについて、伝え合う。 (本時)</p> <p>⑥ 気付いたことやこれからやってみたいことをまとめる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物や生き物、気温、風などの夏らしい自然の様子に気付いている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏の自然の様子について五感を通して感じ取ったり、春の様子と比較したりして捉えている。</li> </ul>	<p>「生活科」</p> <p>学校探検</p> <p>春の遠足</p> <p>「国語」</p> <p>すきなものつたえよう</p> <p>「図画工作」</p> <p>みんなのすきなもの</p> <p>「体育」</p> <p>遊具を使った遊び</p> <p>水遊び</p>
3	<p><b>はなやくさであそぼう</b></p> <p>草花で遊ぶ活動の中で草花の特徴を比べたり遊びを工夫したりすることができ、自然に興味をもって進んで楽しむことができるようにする。</p> <p>① 花や草でどんな遊びができるか話し合う。</p> <p>② 夏探しをした場所へもう一度出かけて、草花を使った遊びをする。</p> <p>③ 活動を振り返り、したことや感じたことをまとめる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏の花や草の特徴を比べながら、草花のできる遊びやそのルールを考え、工夫して遊んでいる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花や草などの身近な自然に興味をもち、自ら進んで関わり、楽しもうとしている。</li> </ul>	<p>「生活科」</p> <p>春の遠足</p> <p>きれいなはなをさかせよう (アサガオの栽培)</p> <p>「国語」</p> <p>おおきくなったよ</p> <p>図書室で本を読もう</p> <p>「図画工作」</p> <p>自分の好きなもの</p>

3	<p><b>みずであそぼう</b></p> <p>水を使って遊ぶ活動を通して、友達どうしで比べたり、道具による変化を予想したり、ルールや遊びを工夫したりしながら楽しむことができるようにする。</p> <p>① 水遊びをした経験を想起する。</p> <p>② 水遊びをする。</p> <p>③ 活動を振り返り、したことや感じたことをまとめる。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達どうしで道具を比べたり、道具や材料によって、どのような変化が起こるのか予想したりしながら、水遊びをしている。</li> <li>ルールを考えたり、友達と一緒に遊んだり、工夫しながら水遊びを楽しんでいる。</li> </ul>	<p>「生活科」</p> <p>学校探検</p> <p>きれいなはなをさかせりよう（アサガオの栽培）</p> <p>「図画工作」</p> <p>せんでいいかんじ</p> <p>「体育」</p> <p>水遊び</p> <p>おにあそび</p>
1	<p><b>なつとともにだちになれたか</b></p> <p>夏らしい自然の様子や夏ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って楽しんだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとするようにする。</p> <p>① 単元全体を振り返り、感じたことや考えたことなどを伝え合う。</p> <p>② これまでの自分の活動を絵と文で表す。</p> <p>③ これからやってみたいことを伝え合う。</p>	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏らしい自然の様子や夏ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合って遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとしている。</li> </ul>	<p>「生活科」</p> <p>学校探検</p> <p>春の遠足</p> <p>きれいなはなをさかせりよう（アサガオの栽培）</p> <p>「国語」</p> <p>すきなものつたえよう</p> <p>「図画工作」</p> <p>みんなのすきなもの</p>
配 当 外	<p><b>あめのひも だいすき</b></p> <p>雨の日や雨上がりの散歩を通して、自然の様子を五感で捉えたり、晴れの日様子と比較したりすることができ、雨の日や雨上がりの自然の様子について、晴れの日との違いにできるようにする。</p> <p>① 雨の日の屋外について話し合う。</p> <p>② 雨の日に校庭に出て、晴れの日との違いを探す。</p> <p>③ 見つけたことや気付いたことを伝え合う。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日や雨上がりの自然の様子について、晴れの日との違いに気付いている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日や雨上がりならではの様子について、視覚や聴覚、嗅覚などを働かせて感じ取ったことを晴れの日様子と比較しながら活動している。</li> </ul>	<p>「生活科」</p> <p>学校探検</p> <p>きれいなはなをさかせりよう（アサガオの栽培）</p> <p>「図画工作」</p> <p>せんでいいかんじ</p> <p>「体育」</p> <p>水遊び</p> <p>おにあそび</p>

6. 本時の学習活動

(1)目標

見つけた夏について伝え合い、春との違いを見つけることができる

(2)展開 (5時間目/13時間)

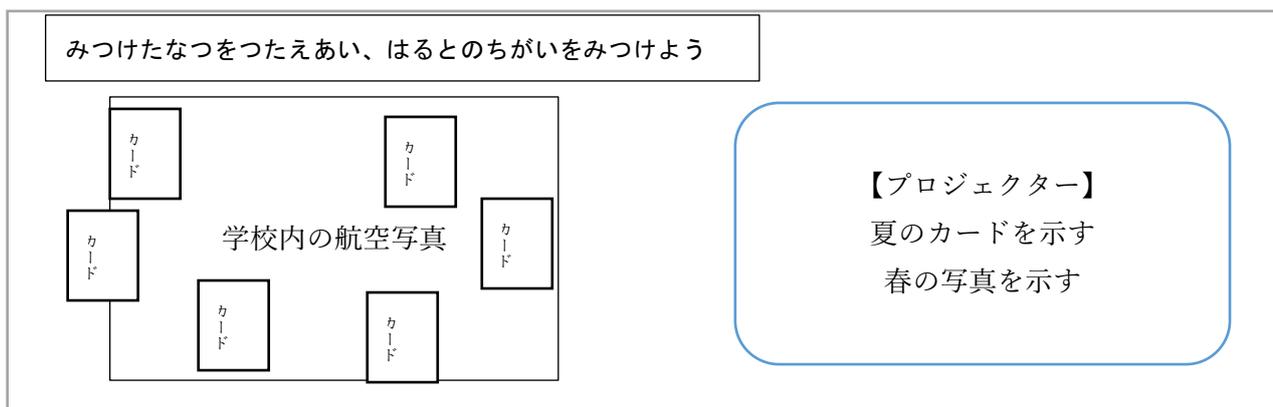
	・学習活動	△予想される児童の反応	◇留意点・支援 ☆評価
導入	<p>1. 前時の活動を振り返る</p> <p>本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>みつけたなつをつたえあい、はるとのちがいをみつけよう</p> </div>	<p>△ 夏を探しに行った</p> <p>△ 夏をカードにかいた</p>	
展開	<p>2. 自分が見つけた夏を伝え合う</p> <p>3. 地図の見つけた場所の位置にカードを貼る</p> <p>4. 春との違いを話し合う</p>	<p>△ 日差しが暑い</p> <p>△ プールが気持ちいい</p> <p>△ 葉っぱが多くなった。</p> <p>△ 葉っぱが緑になった。</p> <p>△ 虫がたくさんいる。</p> <p>△ ビオトープの水が気持ちいい。</p> <p>△ 畑にたくさん葉っぱがある。</p> <p>△ ハチの巣があった。</p> <p>△ アサガオが大きくなった。</p> <p>△ 春</p> <p>あまり葉っぱがない。</p> <p>緑が少ない。</p> <p>少し寒い。</p> <p>水も冷たい。</p> <p>虫が少ない。</p> <p>△ 夏</p> <p>たくさん緑がある。</p> <p>水が気持ちいい</p> <p>虫が増えた。</p> <p>葉っぱが大きくなった。</p> <p>暑い。</p>	<p>◇ 隣の人とペアで順番に話型に沿って発表する。</p> <p>◇ 全体で共有しながら航空写真に貼る。</p> <p>☆ 夏の自然の様子について五感を通して感じ取ったり、春の様子と比較したりして捉えている。(発言)</p> <p>◇ 春の様子がわかる写真を示して、比べ、考えさせる。</p>

終末	<p>5. 本時を振り返る</p> <p>・夏と友達、仲良くなるために、もっとしたいこと</p>	<p>△ もっと植物について知りたい。</p> <p>△ どんな花が咲くのか楽しみ。</p> <p>△ 虫を飼ってみたい。</p> <p>△ 水遊びをしたい。</p>	<p>◇ 次時以降の学習の計画になることを話し合う。</p>
----	--	---	--------------------------------

(3)評価

見つけた夏について伝え合い、春との違いを見つけていた。(発言・カード)

(4) 板書計画



**成果と課題**

【成果】

- ・生活科の授業の内容を見直して刷新できた。
- ・児童主体の探求的な活動をすることができた。
- ・子供の発想を大切に授業を進めてきた。

【課題】

- ・学習の横の内容は整ってきたが、縦がバラバラで同じ内容を別の学年がやっているなどがあったので、縦のカリキュラムを検討する必要がある。教育課程を見直す。
- ・一人ひとりの生活科に対する知識や思いのアップグレードが必要。
- ・教師の思いだけで授業づくりが行われがちなので、指導要領に準じて、地域の特性を生かしたカリキュラムデザインを考えねばならない。